

運用報告書(全体版)

コモディティ・インデックスオープン

【2016年1月26日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
皆様の「コモディティ・インデックスオープン」は、2016年1月26日に第10期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産(商品先物)	
信託期間	2006年1月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	主として、コモディティ・インデックス マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ建て債券に投資し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Commodity Index」を「ブルームバーグ・コモディティ・インデックス」といいます。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	コモディティ・インデックス マザーファンド	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ建て債券を、主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	コモディティ・インデックス マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年1月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグ・コモディティ・インデックス (参考指数)		為替レート (ドル / 円)		債券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	ドル	円		
	円	円	%	ポイント	%	円	%	%	百万円
6期 (2012年1月26日)	5,750	0	△14.6	145.601	△7.9	77.78	△5.4	95.4	204
7期 (2013年1月28日)	6,449	0	12.2	140.647	△3.4	91.03	17.0	94.6	202
8期 (2014年1月27日)	6,400	0	△0.8	127.002	△9.7	102.32	12.4	98.3	139
9期 (2015年1月26日)	5,768	0	△9.9	101.131	△20.4	117.67	15.0	94.8	112
10期 (2016年1月26日)	4,278	0	△25.8	74.496	△26.3	118.14	0.4	95.4	63

(注) 基準価額は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。なお、同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 「為替レート(ドル/円)」は、対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値です。

(注) 債券組入比率はマザーファンドへの投資を通じた実質比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグ・コモディティ・インデックス (参考指数)		為替レート (ドル / 円)		債券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2015年1月26日	円	%	ポイント	%	円	%	%
	5,768	—	101.131	—	117.67	—	94.8
1月末	5,677	△1.6	98.763	△2.3	118.25	0.5	94.8
2月末	5,894	2.2	102.103	1.0	119.27	1.4	94.6
3月末	5,762	△0.1	99.288	△1.8	120.17	2.1	92.2
4月末	5,926	2.7	103.063	1.9	119.00	1.1	95.4
5月末	5,985	3.8	100.156	△1.0	123.73	5.1	97.9
6月末	5,964	3.4	100.735	△0.4	122.45	4.1	93.1
7月末	5,570	△3.4	92.625	△8.4	124.04	5.4	92.3
8月末	5,249	△9.0	89.358	△11.6	121.18	3.0	93.2
9月末	5,091	△11.7	87.562	△13.4	119.96	1.9	94.5
10月末	5,078	△12.0	86.867	△14.1	120.90	2.7	93.7
11月末	4,801	△16.8	81.096	△19.8	122.82	4.4	92.3
12月末	4,604	△20.2	79.042	△21.8	120.61	2.5	90.2
(期末) 2016年1月26日	4,278	△25.8	74.496	△26.3	118.14	0.4	95.4

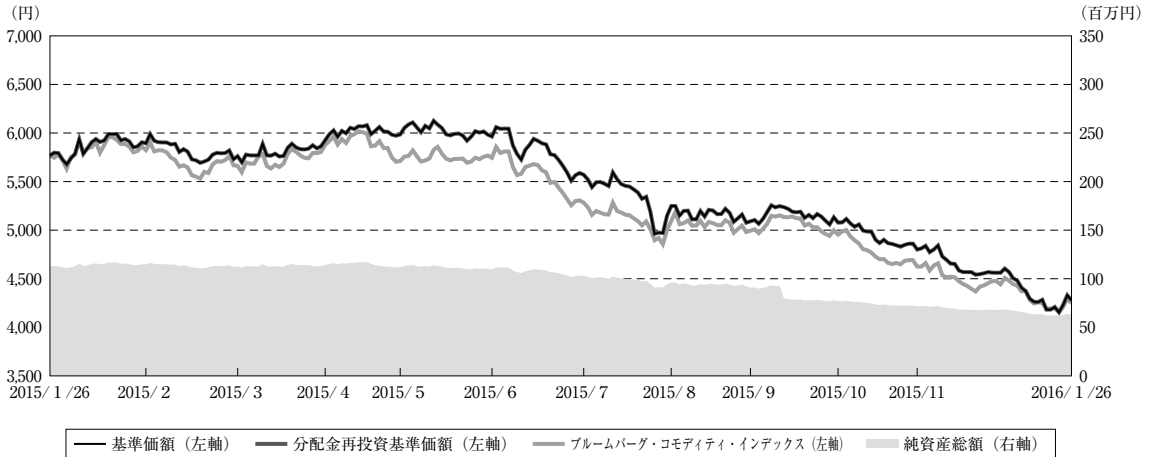
(注) 騰落率は期首比です。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークです。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグが算出し、配信するものです。ブルームバーグは、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしたものは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年1月27日～2016年1月26日)



期首：5,768円

期末：4,278円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△25.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2015年1月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「コモディティ・インデックス マザーファンド」における主なプラス要因及びマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・組入れていたユーロ円建て債券の値下がり、主なマイナス要因となりました。

投資環境

(2015年1月27日～2016年1月26日)

コモディティ市場は、国際石油資本などが相次いで設備投資計画の削減を発表したことや、米国内の石油リグ（掘削装置）稼働数の急減を受けて原油が上昇する一方、米国の利上げ観測などを背景に金下落するなど、商品ごとにまちまちの動きとなりました。しかし夏場以降は、原油の需給緩和状態が長期化するとの見方が広がったほか、中国を始めとした新興国経済の減速懸念が強まったことが相場の下押し材料となり、下落する展開となりました。また、2016年に入ってから、欧米による対イラン制裁解除を受けて、イラン産原油の輸出増加観測が強まり、エネルギーセクターを中心に一段安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年1月27日～2016年1月26日)

当ファンドの主要な投資対象である「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。期末における受益証券の組入比率は、98.2%となっております。

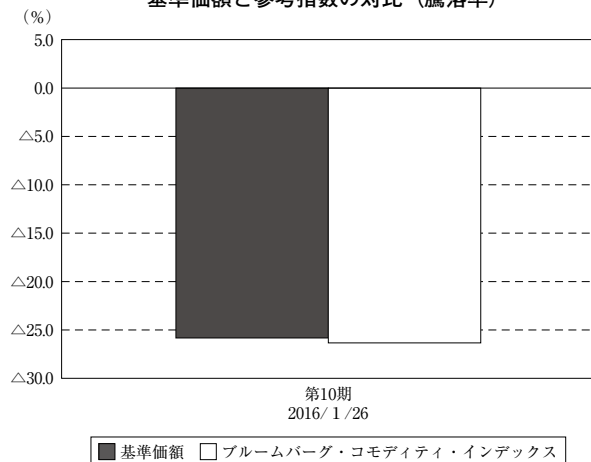
「コモディティ・インデックス マザーファンド」につきましては、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。期末では、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店（UBS AG, London Branch）発行の債券を保有しており、組入比率は97.2%です。

当ファンドのベンチマークとの差異

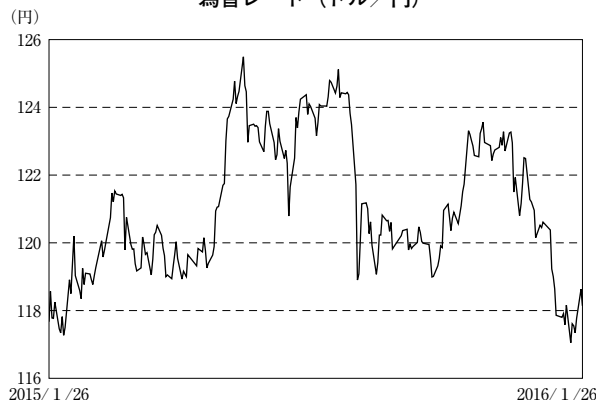
(2015年1月27日～2016年1月26日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているブルームバーグ・コモディティ・インデックスの騰落率を0.5%上回りました。為替（ドル／円）レートがドル高円安に振れたことや、「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の組入比率を概ね90%台で推移させたことが、参考指数の騰落率を上回る主な要因となりました。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



為替レート（ドル／円）



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
 (注) 参考指数は、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスです。

分配金

(2015年1月27日～2016年1月26日)

当期の分配金につきましては、基準価額水準等を考慮して見送りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第10期
	2015年1月27日～ 2016年1月26日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	- %
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	247

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドの主要な投資対象である「コモディティ・インデックス マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に保つ方針です。

「コモディティ・インデックス マザーファンド」につきましては、追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、同インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年1月27日～2016年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	74 (35) (35) (3)	1.350 (0.648) (0.648) (0.054)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	16 (16) (1)	0.299 (0.286) (0.013)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	90	1.649	
期中の平均基準価額は、5,466円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年1月27日～2016年1月26日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

■ 新投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コモディティ・インデックス マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 43,218	千円 25,500

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月27日～2016年1月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月26日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当期	期末
		口数	口数	評価額
コモディティ・インデックス	マザーファンド	千口 175,621	千口 132,403	千円 61,964

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年1月26日現在)

項	目	当期	期末
		評価額	比率
コモディティ・インデックス	マザーファンド	千円 61,964	% 96.7
コー	ール・ローン等、その他	2,123	3.3
投資	信託財産総額	64,087	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	64,087,275
コール・ローン等	2,122,592
コモディティ・インデックス マザーファンド(評価額)	61,964,683
(B) 負債	965,283
未払解約金	403,182
未払信託報酬	556,811
その他未払費用	5,290
(C) 純資産総額(A - B)	63,121,992
元本	147,553,957
次期繰越損益金	△ 84,431,965
(D) 受益権総口数	147,553,957口
1万口当たり基準価額(C / D)	4,278円

(注) 運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.4278円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は84,431,965円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は195,435,081円、期中追加設定元本額は4,395,002円、期中一部解約元本額は52,276,126円です。

○損益の状況 (2015年1月27日～2016年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	119
受取利息	119
(B) 有価証券売買損益	△20,639,273
売買益	2,306,960
売買損	△22,946,233
(C) 信託報酬等	△ 1,324,554
(D) 当期損益金(A + B + C)	△21,963,708
(E) 前期繰越損益金	△18,255,995
(F) 追加信託差損益金	△44,212,262
(配当等相当額)	(3,113,351)
(売買損益相当額)	(△47,325,613)
(G) 計(D + E + F)	△84,431,965
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	△84,431,965
追加信託差損益金	△44,212,262
(配当等相当額)	(3,113,351)
(売買損益相当額)	(△47,325,613)
分配準備積立金	541,975
繰越損益金	△40,761,678

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第10期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	3,113,351円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	541,975円
分配対象収益(a + b + c + d)	3,655,326円
分配対象収益(1万口当たり)	247円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

<お知らせ>

・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ペーパーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

コモディティ・インデックス マザーファンド

第10期 運用状況のご報告

決算日：2016年1月26日

「コモディティ・インデックス マザーファンド」は、2016年1月26日に第10期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。
主要投資対象	ブルームバーグ・コモディティ・インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグ・コモディティ・インデックス (参考指数)		為替レート (ドル / 円)		債 券 組 入 比 率 (%)	純 資 産 額 (百万円)
	円	期中騰落率 (%)	ポイント	期中騰落率 (%)	円	期中騰落率 (%)		
6期 (2012年1月26日)	6,047	△14.0	145.601	△ 7.9	77.78	△ 5.4	98.4	393
7期 (2013年1月28日)	6,886	13.9	140.647	△ 3.4	91.03	17.0	95.9	277
8期 (2014年1月27日)	6,896	0.1	127.002	△ 9.7	102.32	12.4	98.9	220
9期 (2015年1月26日)	6,276	△ 9.0	101.131	△20.4	117.67	15.0	97.0	159
10期 (2016年1月26日)	4,680	△25.4	74.496	△26.3	118.14	0.4	97.2	127

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、当該日前営業日の現地終値です。なお、同指数は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 「為替レート (ドル/円)」は、対顧客電信売買相場の当日 (東京) の仲値です。

ブルームバーグ・コモディティ・インデックスおよび「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークです。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスは、ブルームバーグが算出し、配信するものです。ブルームバーグは、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

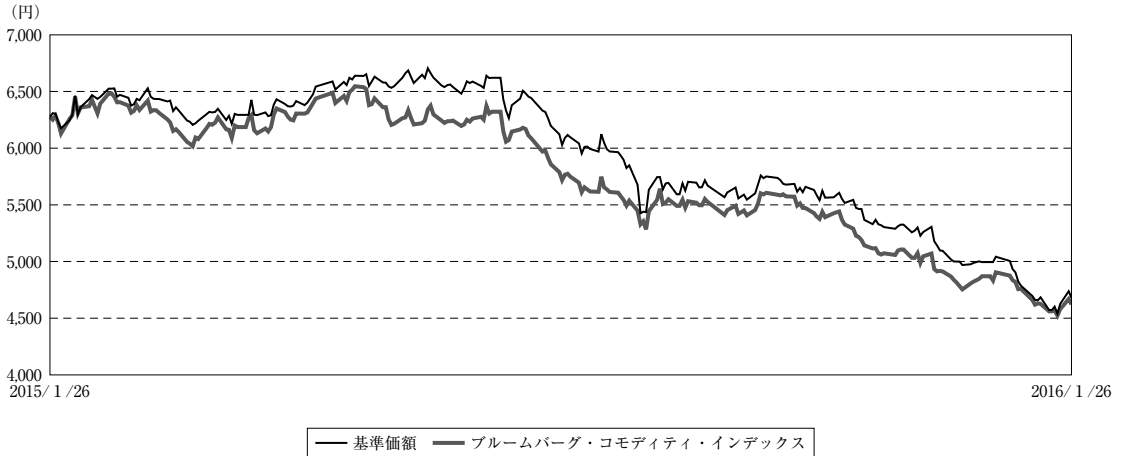
年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ・ コモディティ・インデックス (参考指数)		為 替 レ ー ト (ド ル / 円)		債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2015年1月26日	円 6,276	% -	ポイント 101.131	% -	円 117.67	% -	% 97.0
1月末	6,175	△ 1.6	98.763	△ 2.3	118.25	0.5	96.9
2月末	6,423	2.3	102.103	1.0	119.27	1.4	96.2
3月末	6,285	0.1	99.288	△ 1.8	120.17	2.1	94.1
4月末	6,474	3.2	103.063	1.9	119.00	1.1	97.6
5月末	6,547	4.3	100.156	△ 1.0	123.73	5.1	98.8
6月末	6,531	4.1	100.735	△ 0.4	122.45	4.1	94.9
7月末	6,096	△ 2.9	92.625	△ 8.4	124.04	5.4	94.5
8月末	5,745	△ 8.5	89.358	△11.6	121.18	3.0	94.4
9月末	5,574	△11.2	87.562	△13.4	119.96	1.9	95.4
10月末	5,563	△11.4	86.867	△14.1	120.90	2.7	95.2
11月末	5,258	△16.2	81.096	△19.8	122.82	4.4	94.8
12月末	5,042	△19.7	79.042	△21.8	120.61	2.5	92.7
(期 末) 2016年1月26日	4,680	△25.4	74.496	△26.3	118.14	0.4	97.2

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年1月27日～2016年1月26日)



(注) 参考指数は、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスです。

(注) 参考指数は、期首（2015年1月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・組入れていたユーロ円建て債券の値下がり、主なマイナス要因となりました。

投資環境

(2015年1月27日～2016年1月26日)

コモディティ市場は、国際石油資本などが相次いで設備投資計画の削減を発表したことや、米国内の石油リグ（掘削装置）稼働数の急減を受けて原油が上昇する一方、米国の利上げ観測などを背景に金下落するなど、商品ごとにまちまちの動きとなりました。しかし夏場以降は、原油の需給緩和状態が長期化するとの見方が広がったほか、中国を始めとした新興国経済の減速懸念が強まったことが相場の下押し材料となり、下落する展開となりました。また、2016年に入ってから、欧米による対イラン制裁解除を受けて、イラン産原油の輸出増加観測が強まり、エネルギーセクターを中心に一段安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

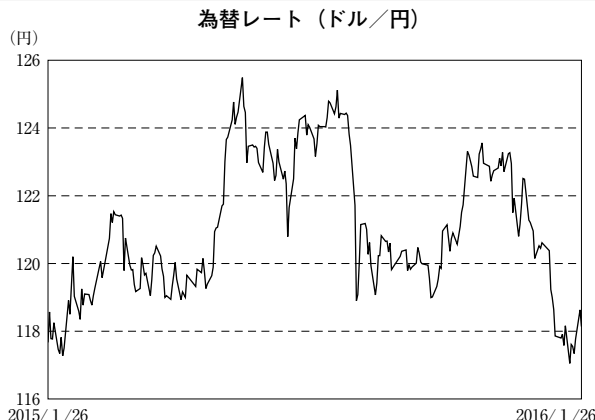
(2015年1月27日～2016年1月26日)

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、同インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。期中にユーロ円建て債券の入替えを行いました。期末現在では、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店（UBS AG, London Branch）発行の債券を保有しており、組入比率は97.2%です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年1月27日～2016年1月26日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているブルームバーグ・コモディティ・インデックスの騰落率を0.9%上回りました。為替（ドル／円）レートがドル高円安に振れたことや、ユーロ円建て債券の組入比率を概ね90%台で推移させたことが、参考指数の騰落率を上回る主要因となりました。



今後の運用方針

追加設定や解約に対応し、ブルームバーグ・コモディティ・インデックスが表す世界の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、同インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に保つ方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年1月27日～2016年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 18 (18)	% 0.295 (0.295)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	18	0.295	
期中の平均基準価額は、5,976円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年1月27日～2016年1月26日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	社債券（投資法人債券を含む）	千円 192,302	千円 180,702

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月27日～2016年1月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月26日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	150,000 (150,000)	124,080 (124,080)	97.2 (97.2)	— (—)	— (—)	— (—)	97.2 (97.2)
合 計	150,000 (150,000)	124,080 (124,080)	97.2 (97.2)	— (—)	— (—)	— (—)	97.2 (97.2)

(注) () 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) B B 格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券（含む投資法人債券）	%	千円	千円	
UBS-COMMODITY 20161130	—	150,000	124,080	2016/11/30
合 計		150,000	124,080	

(注) UBS-COMMODITY 20161130は、スイスのユービーエス・エージーのロンドン支店 (UBS AG, London Branch) 発行のユーロ円建て債券です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	124,080	97.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,547	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	127,627	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	127,627,799
コール・ローン等	3,547,799
公社債(評価額)	124,080,000
(B) 純資産総額(A)	127,627,799
元本	272,735,909
次期繰越損益金	△145,108,110
(C) 受益権総口数	272,735,909口
1万口当たり基準価額(B/C)	4,680円

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.4680円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は145,108,110円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は253,454,527円、期中追加設定元本額は89,347,923円、期中一部解約元本額は70,066,541円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、コモディティ・インデックスオープン132,403,170円、世界9資産分散ファンド(投資比率変動型)140,332,739円です。

○損益の状況 (2015年1月27日～2016年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,086
受取利息	1,086
(B) 有価証券売買損益	△ 41,766,000
売買益	808,000
売買損	△ 42,574,000
(C) 保管費用等	△ 474,354
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 42,239,268
(E) 前期繰越損益金	△ 94,387,460
(F) 追加信託差損益金	△ 36,547,923
(G) 解約差損益金	28,066,541
(H) 計(D+E+F+G)	△145,108,110
次期繰越損益金(H)	△145,108,110

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離